

平成27年度 仙台大学大学院 授業概要

授業科目名	体育科教育学演習		担当教員	長見 真			
	Seminar on the Pedagogy og Physical Education						
領域水準コード	A2	単位数	2	履修方法	選択	授業の方法	演習
<b>授業の概要</b>							
体育学習をめぐる諸問題および生涯スポーツを志向するこれからの体育学習の考え方について、様々な文献、具体的な授業実践などを手がかりに追究する。							
<b>授業の一般目標</b>							
主として体育学習をめぐる諸問題について検討していく中で、生涯スポーツを志向するこれからの体育学習のあり方を深く理解し、その認識を深める。							
<b>授業の到達目標</b>							
■ 認知的領域	体育学習をめぐる諸問題および生涯スポーツを志向するこれからの体育学習のあり方を説明できる						
■ 情意的領域	体育学習をめぐる諸問題および生涯スポーツを志向するこれからの体育学習のあり方について積極的に討論することができる						
□ 技能表現的領域							
<b>授業計画(全体)</b>							
体育学習に関する文献を担当者がまとめ、その内容を報告し、それに基づいて討論を進める(講読会の実施)。また、実際の体育授業を見学またはビデオ視聴し、討論を適宜おこなう(授業検討会の実施)。							
<b>授業計画(詳細)</b>							
<b>授業テーマとその内容</b>							
<p>&lt;講読会&gt;</p> <p>①講読する文献および報告担当者の決定          ②担当者による報告(レジュメの作成)          ③討論          ④まとめと課題</p> <p>※これを繰り返しおこなう。          ※講読する文献については、①学校体育に関するもの ②学校教育、学習に関するもの ③現代社会におけるスポーツの状況、生涯スポーツ、スポーツ指導に関するものなどが考えられる。ちなみにこれまで講読あるいは推奨した文献は、佐伯年詩雄著「これからの体育を学ぶ人のために」大修館書店、グリフィン他著「ボール運動の指導プログラム」大修館書店、友添秀則他編著「教養としての体育原理」大修館書店、雑誌「体育科教育」大修館書店などである。          ※討論の進め方については、主として担当者が討論したいテーマを提起し、そのテーマに関してフリーにディスカッションする。          ※授業終了後のまとめとしてポートフォリオを作成する。</p> <p>&lt;授業検討会&gt;</p> <p>①授業実践の見学または視聴          ②討論          ③まとめと課題</p> <p>※これを繰り返しおこなう</p>							
<b>授業外学習の指示等</b>							
講読する文献の熟読および授業を通して出てきた疑問・課題等をクリアにするための追究							
<b>成績評価方法(方針)</b>							
講読会における報告のまとめ方、討論における積極的な参加、生涯スポーツを志向するこれからの体育学習のあり方の理解の度合いを評価する。							
<b>成績評価方法(詳細)</b>					<b>履修上の注意(受講に当たって学生に望むこと)</b>		
	到達目標	認知的領域	情意的領域	技能表現的領域	評価割合 (%)	これからの体育学習のあり方を自分たちで創造していくというスタンスに立ち、常に問題意識を強く持ちながら積極的に討論に参加することを望む。	
成績評価方法							
定期試験(期末試験)							
小テスト・授業内レポート		○		○	20		
授業外のレポート							
ポートフォリオ		◎		○	30		
出席			○		欠格条件		
その他			◎		50		
関連科目	体育科教育学特講 スポーツ倫理学特講など						
教科書	講読会で使用する文献			参考書	講義中、必要に応じて提示する。		
連絡先	A棟3階 306 オフィスアワー:水曜 14:20~15:50						